

みんなが輝く東葛城の子1月

考える子 思いやる子 元気な子

輝き そして 認め合う

平成29年1月12日
校長室だより NO. 9
校長 笠川 智香

明けまして おめでとうございます

今年も どうぞよろしく お願いいたします

今年の正月三が日は、昨年と同様に穏やかな天気でした。毎年恒例ですが、年越しそばで1年を締めくくり、除夜の鐘をききながら近所の氏神様にお詣りに行きます。おみくじを引くのも私の中のルーティーン。書かれている内容のキーワードを今年の指標の一つにしています。

さて、10日の日には全員がそろって粛々と始業式を行いました。ひとり一人のまなざしに輝きと力強さを感じ、頼もしくなりました。酉年の今年、皆さんはどんな抱負（事をなしとげようと、決心または約束すること）を抱いたでしょうか。前年の悪いことは尾を引かないように心を新たに、是非、有言実行（！？）で成し遂げてほしいものです。良いことをいっぱい「とり」こみましょう！！

節目を大切に！！ 始業式の日風景 学年や男女を超えて



たった一言の言葉 (終業式で紹介した児童の作品です)

学校で、けがをしたとき、「だいじょうぶ？」って声をかけてくれる友達。

学校を休んだとき、「だいじょうぶ？明日来れたらいいな」って連絡帳に書いてくれる友達。

学校で、少し困った顔をしているとき「どうしたの」って声をかけてくれる友達。

休み時間や放課後、「一緒に遊ぼう！」って声をかけてくれる友達。

たったひと言だけれど、とっても、気持ちが楽になる。

たったひと言だけれど、とっても、うれしい。

ぼくが友達から言ってもらって、うれしかった言葉は、ぼくも、友達に言おう。

ホッとさせる、たったひと言が、みんなに、広がれば、もっともっと、みんな、仲良く

できるだろうなあ。 もっともっと、友達を思いやることが、できるだろうなあ。

たったひと言。はずかしいなあって思う時もあるけれど、そんな時は、勇気を出して言おう。

たったひと言の言葉で、元気に、なれるのだから。

玉手箱

「あい・愛宣言」3学期に心にとめること

始業式で皆さんにお願いしました。3学期のひとり一人の「心にとめること（気をつけるところ）を紙に書いてください。人の行動を車に例えるとわかりやすいのですが、車を動かすにはエンジンが大切です。しかしブレーキがなければ衝突し事故を起こしてしまいます。ブレーキとなる3学期の指標をよくよく考えて、書き留めてください。自分の良いところや、ここは直したほうが良いところを知ることは、メタ認知につながります。

例1 友達と喧嘩・・・喧嘩の原因を考える→（いやなことを言った 叩いた）→謝る→

いやなことは言わない・暴力はNO! 2次的原因を探る 寝不足・心配事

例2 図が書けたり計算はできても問題がとけない・・・（文章の意味が理解できていない）（早とちりをしてケアレスミスが多い）→ マイナス思考（算数は嫌いだ 苦手意識を持つ）

何回も文章を読む・もう一度答えを見直す・授業でやったことを思い出す

もう一人の自分の目で、自分を振り返ってみましょう。

〆切 1月16日（月）です

1月の目標

「友達と仲良くしよう」

児童会より